

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年6月12日（月）～平成29年6月18日（日）〔平成29年第24週〕の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

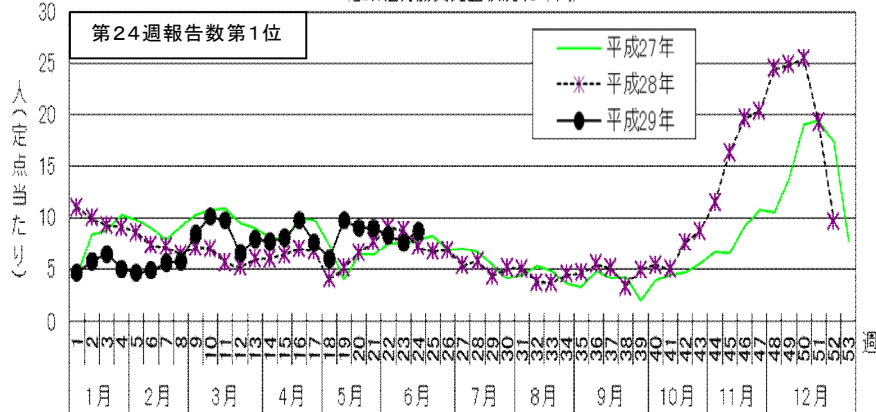
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.64人と前週（7.58人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.69人と前週（4.31人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

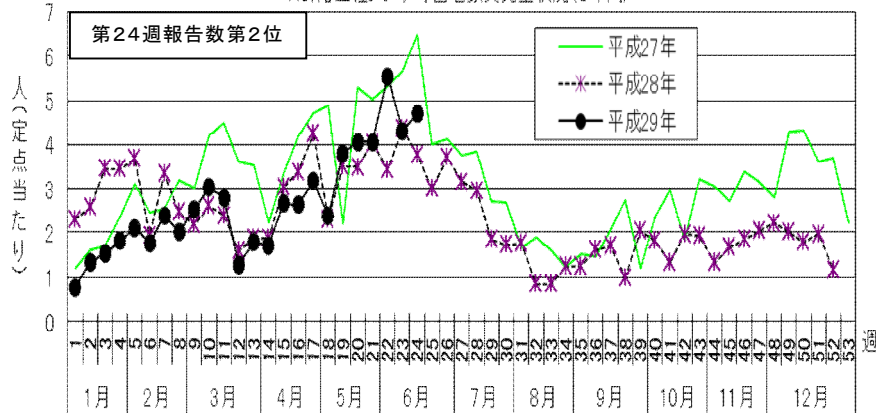
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.22人と前週（1.67人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 過去10年間で最多の患者報告数～流行性角結膜炎～

川崎市では昨年4月以降、流行性角結膜炎の患者報告数が顕著に増加しています。平成29年第24週（6月12日～6月18日）には定点当たり患者報告数が3.22人となり、過去10年間で最多となりました。特に宮前区では、定点当たり患者報告数が9.50人と、流行発生警報基準値（定点当たり8.00人）を超えています。また、患者報告数が多いのは0～9歳の小児と成人では30～39歳の女性です。

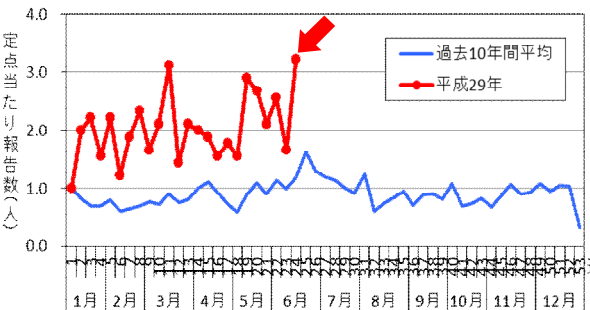
涙が出る、目やにが出る、目の充血等の症状がみられた際には、こすらないように注意して、早めに眼科を受診しましょう。



患者との接触により感染しますので、ウイルスで汚染されたティッシュペーパー等は適切に廃棄し、タオルの共用は避けましょう。



川崎市における流行性角結膜炎発生状況  
- 平成29年と過去10年間平均の比較 -



川崎市における流行性角結膜炎  
男女性別・年齢階級別発生状況（平成29年第1週～第24週）

